

○仙台・宮城北部森林管理署の「製品生産事業現地検討会」に参加しました。

青森事務所では毎年、各森林管理署等の採材現地検討会に参加し、技術指導や情報提供など行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するように努めています。

平成30年7月25日(水)に仙台森林管理署管内の川崎町小屋沢山国有林で開催された現地検討会に、青森事務所から3名が参加してきました。

暑い日が続いており、この日も現地は曇りがちだが蒸し暑い天候のなか、仙台署と宮城北部署の関係者70名以上による検討会でした。

会場は柴田郡川崎町の国有林の製品生産請負事業の土場で、広葉樹とスギについて採材検討しました。まずはナラほか広葉樹5本の供試木の採材について検討した後、それぞれ一本毎に採材の考え方等について意見交換を行いました。次にスギ4mの丸太4本の材種区分や長級等について検討し、意見交換を行いました。

青森事務所からは最近の販売状況を踏まえた採材の指導及び情報提供と、最後に労働災害対策を含めた講評をさせていただきました。

青森事務所では今後も国有林材の有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。

